

## 職業・仕事について

——今回は、清里小学校で体育の先生として活躍されている稲葉さん取材させていただきました。

本日はよろしくお願ひします。

稲葉：よろしくお願ひします。

——稲葉さんは清里に来られて何年目になりますか？

稲葉：今年の4月に来たばかりですので1年目です。教員としては6年目で、清里は3か所目の勤務地になります。

——まずはじめに、なぜ稲葉さんが小学校の先生を目指すことにされたのか教えてください。

稲葉：実は自分の父も学校の先生をやっている、小さい頃からその父の姿を見てきました。その中で、自然と父の仕事に憧れを抱くようになったのが最初のきっかけでした。

——学校の先生であれば、中学校や高校の先生という選択肢もあったと思いますが、小学校の先生を目指した理由は何かありますか？

稲葉：昔住んでいた場所が、小さい子ども達がたくさん住んでいる地域で、普段から小学生くらいの子とも達と接する環境の中で暮らしていました。その影響もあり小学校の先生として子ども達と関わる仕事がしたいという思いが強くなりました。

——なるほど。小学校ではたく

さんの行事が行われると思いますが、小学校の先生の1年間はどういうようなスケジュールになりますか？

稲葉：基本的には、年間通して各種行事の準備をしています。例えば、入学式を終えてやっと慣れてきたかと思ったら5月にはすぐ運動会の準備をして、6月には運動会があります。それが終わるとプール授業や夏休み、秋にはマラソンや学芸会、続いてスキー授業や冬休みなど途切れなく行事が入ってきますね。

——夏休みや冬休みの間、先生達はどうに過ごされていますか？

稲葉：夏休み期間中なども、平日は先生達は出勤しています。基本的には休み明けの授業の準備をしたり、その次の仕事を先取りして取り組んでいます。

——小学校の先生の1日の流れを教えてください。

稲葉：8時30分に1時間目の授業が始まるので、毎朝8時前には出勤します。朝の会が始まるまでは自由時間なので、子ども達から誘われたら一緒に鬼ごっこをしたりして過ごしていますね。

——昼間は基本的に授業の対応をして、子ども達が帰った後には、その日の授業を振り返って、反省を次の授業に活かせるように考えています。

——稲葉さんが考える、小学校の先生のやりがいは何でしょう

か？

稲葉：例えば、学校の先生は転勤がありますから、前の学校を離れる時、一緒に過ごした子ども達も泣いてくれたりした時は感慨深いものがありますね。その時は、子ども達にとって思い出に残るような1年にすることが出来たんだなど感じる瞬間でもありません。

——また、普段の生活の中では、できなかったことができるようになった時に、子どもがすごく笑顔で「できたー」といって喜んでくれる時はうれしいですね。例えば、逆上がりができるようになったとなれば、その子にとっては一生の思い出になるでしょうから、その瞬間に立ち会えるというのは大きなやりがいだと思います。

——先生として働く前のイメージと、実際に働いてみて感じているギャップは何かありますか？

稲葉：はい。実際に働いてみて、子ども達からは見えない部分の仕事もすごく大切な時間なんだと感じています。授業の組み立てを工夫したり、行事のために計画を立てたりなど、子ども達から見えないところでの仕事も、子ども達と直接関わる授業を支えているのだと気づきました。これは働いてみないと分からなかった部分ですね。

——勤務地としては3か所目とのことでしたが、清里の子ども

# 清里 Under 30



～ Profile ～

稲葉 大輝さん (江南東)

今年の4月に清里小学校に赴任。現在は体育の先生として、子ども達とたくさんの思い出を共有するために、日々全力で子ども達と向き合っている。

「できない」を「できた！」に変える小学校教師

達と接してみても感じていること  
はありますか？

稲葉：最初に思ったのは、清里の  
子ども達は習い事にすぐく積極  
的に取り組んでいるなど感じま  
した。ほとんどの子ども達が陸上  
をやっていたり、少年団に入りな  
がらピアノも習っていたりと、学  
校外での活動にいろいろ挑戦し  
ていて素晴らしいと思いました。

——稲葉さんが普段子ども達  
と接する中で心掛けていること  
はありますか？

稲葉：はい。自分が子ども頃の  
先生というところ、どうしても怖いイ  
メージがありました。そうではな  
くて、もちろん叱る時は叱ります  
が、子ども達にとって接しやすく  
て話しやすい先生でありたいと  
考えています。

——なるほど。今回の記事を読

んでくれる人の中にも、将来は小  
学校の先生になりたいと考えて  
いる学生さん多いと思います。  
何かメッセージがあればお願い  
します。

稲葉：まず、学校の先生というた  
り、勉強ができないといけな  
いイメージがあると思いますが、  
そんなことはありません。勉強が  
できるに越したことはありません  
が、それよりも子ども達にどう  
教えるか、どう関わるかの方が重  
要だと思います。

——勉強以外にも人としてたくさ  
んのことを教えなければなりま  
せんし、勉強が全てではないので  
そこはあまり気負わずどんどん  
自分の可能性を広げてほしいで  
す。

——最後に、稲葉さんの今後の  
仕事の目標について教えてください



さい。

稲葉：教員生活が終わるまでは、  
自分と過ごした子ども達に、「楽  
しかった・これができるようにな  
った・うれしかった」という一生  
消えない思い出を持ってもらえ  
るように頑張りたいです。また、  
体育の先生でもあるので、自分の  
スキルを磨くと同時に、体育の授  
業プランのような、今後の礎にな  
るようなものを残すことができ  
ればと考えています。

### 清里での暮らしについて

——それでは続いて、清里での  
暮らしについて伺います。

4月に清里に来たばかりとい  
うことですが、清里の最初の印象  
はいかがでしたか？

稲葉：前に住んでいたところも  
同じような規模の町でしたが、そ  
こと比較すると、清里はいろいろ  
な場所にいろいろな施設がある  
など感じました。以前住んでいた  
ところでは、比較的一つの場所に  
密集していましたが、最初はどこ  
に何があるのか覚えるために、  
しばらく車で散策していました  
ね。

——稲葉さんが思う清里の魅  
力は何ですか？

稲葉：びっくりしたのが、清里は  
高校生まで医療費がかからない  
ことです。今までこのような取り  
組みを行っている町は初めてで  
すし、医療費がかからない分、そ

れ以外の部分で子ども達にお金  
を使ってあげられると思うと、子  
どもを持つ親御さんはすごく助  
かると思います。

——また先日、急に雪が降った際、  
朝には道路へ出るまでの道が除  
雪されていて、江南地域の方には  
大変助けられました。このような  
地域の人の優しさというの清  
里の魅力の一つだと感じしてい  
ます。

——続いて、最近の若い人の結  
婚に対する考え方についても質  
問させていただきますか？

稲葉：実は今年に入って結婚し  
たばかりなのですが、自分の中  
では若いうちに結婚して、早く自分  
の子どもに会いたいと思います  
ね。そして、体力的にも元気な若  
いうちに、子どもと出掛けたり、  
一緒にスポーツを楽しんだりし  
て過ごしたいです。

——なるほど。ご結婚されたば  
かりということ、稲葉さんのよ  
うな若いご夫婦が、清里で充実し  
た暮らしをするにはあと何が必  
要だと思いますか？

稲葉：そうですね、自分達が転勤  
族だということもあるのですが、  
普段はなかなか学校の先生以外  
の方と関わる機会が少ないです。  
地域の方と関わりを持ちたくて  
も、そういった機会がないと思っ  
ている人も少なくないと思いま

す。そういった奥さん達や若い女  
性同士が交流できるようなイベ  
ントがあれば良いかなと思いま  
す。

——職場や団体の垣根を超えて、誰  
でも参加できるようなものがあ  
れば、より多くの人が地域に溶け  
込むことができるのではないかと  
思います。

——貴重なご意見ありがとうございます。

——それでは最後の質問です。稲葉  
さんにとっての清里の総合満足  
度は何%でしょうか？

稲葉：そうですね。まだ清里に  
来て間もないですが、良い意味で50  
%です。先ほど言ったように、医  
療費の無償化など、すごい取り組  
みを行っている反面、やはり隣町  
まで買い物に行かないと、必要な  
物が揃わないこともあります。  
まだ清里に来たばかりですの  
で、これからさまざまなおことにア  
ンテナを張って、もっと清里につ  
いて知っていきたいです。

### 編集後記

今回は、今年の4月に清里に赴  
任したばかりだという稲葉さん  
を取材させていただきました。

子ども達にとって、一生忘れら  
れない思い出に立ち会えること  
がやりがいだという稲葉さんは、  
子ども達からは見えない仕事に  
対しても、ひたむきに努力を続け  
ていました。